

観光文化

Tourism Culture

238

July
2018

1. 観光振興財源を取り巻く
国内外の動向

公財 日本交通公社
池知貴大

2. 釧路市・阿寒湖温泉における
入湯税超過課税
導入の取り組み

公財 日本交通公社
梅川智也

3. 京都市に
おける
宿泊税導入の
取り組みについて

京都市行財政局税務部税制課

4. エリア
マネジメントの
財源調達の
現状と
負担金制度
への期待

法政大学
保井美樹

5. 持続性のある
DMO構築の鍵となる
資金繰り確保の手法について

セントラルフロリダ大学
原忠之

公財 日本交通公社
山田雄一

特集

インバウンド時代の 観光振興 財源

巻頭言

「入湯税かさ上げ」
実現に導いた
3つの要素

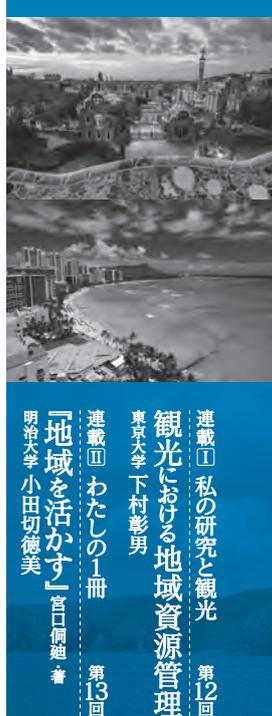
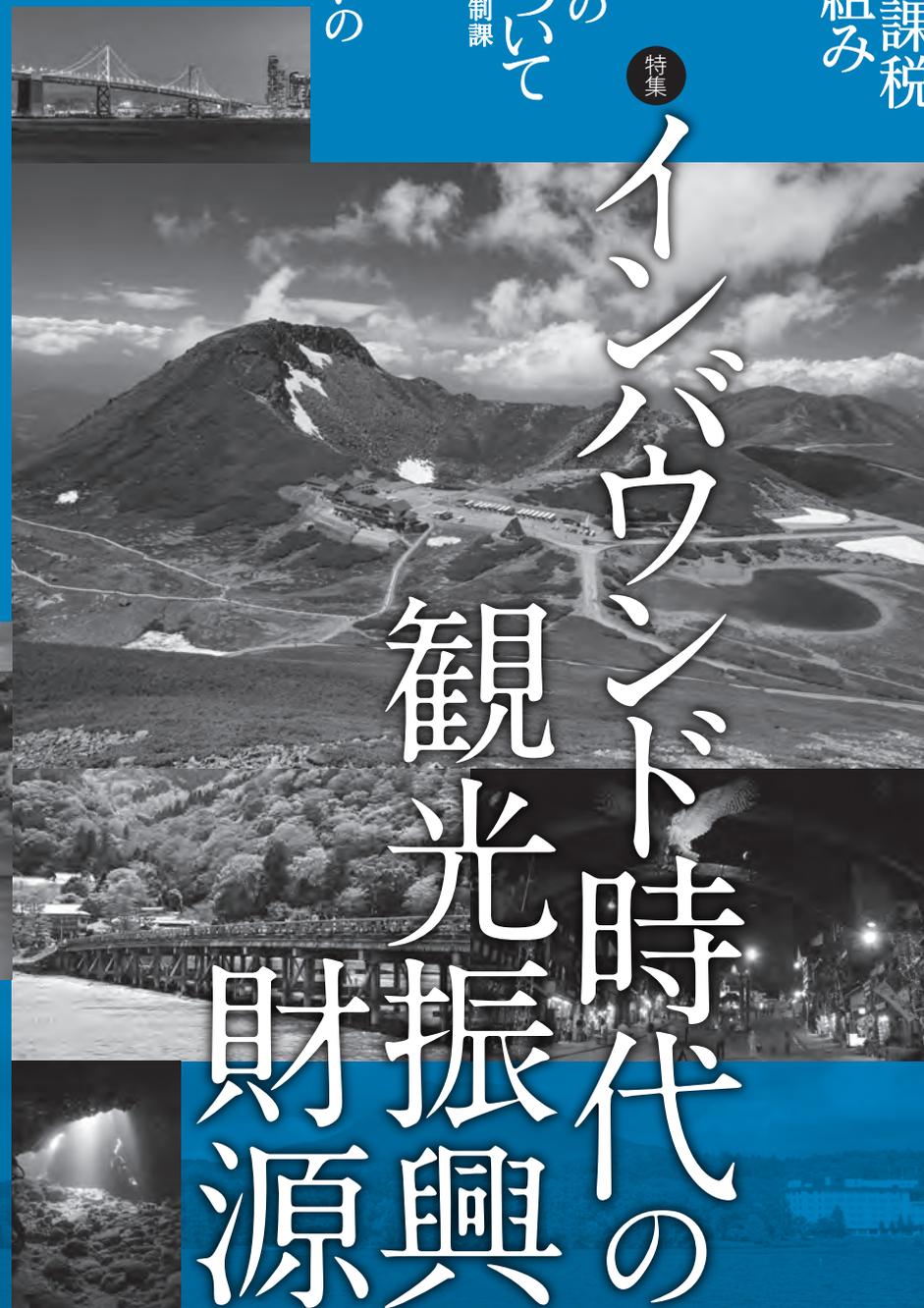
NPO 阿寒観光協会
まろつくり推進機構
大西雅之

連載 ① 私の研究と観光 第12回
観光における地域資源管理

東京大学 下村彰男

連載 ② わたしの1冊 第13回

「地域を活かす」宮日側遊書
明道大学 小田切徳美



経済のサービス化と、人口の縮小のなか、

「観光」は地域経済振興のエンジンとして期待される存在である。

しかしながら、観光振興に伴う取り組みは広範におよび、

難易度が高い取り組みも少なくない。

これらの取り組みを着実に展開するには、

多様な事業を持続的に展開できるだけの財源を有することが

必要との認識が高まりつつある。

そして、その財源として、法定外目的税としての宿泊税の導入や、

入湯税の増税などが各地で検討されているが、

税に対するアレルギーや誤解も多いのが実情である。

そこで、本特集では、宿泊税などの国内外の事例や制度を取り上げ、

観光振興財源の導入と活用に向けた提言を行う。

